

KITAYO Special Edition | J-PEAKS活動の今をお届けします

KITAYO



NEWS LETTER

8

03 DEC, 2025
(毎月第1週発行)

J-PEAKS九工大担当 サポートー紹介

やすうら ひろと
安浦 寛人 氏 プロフィール

- 1953年 福岡県生まれ
- 福岡県立修猷館高校卒業
- 1991年より九州大学にて教授・副学長・CIOなどを歴任し、キャンパス整備や情報基盤構築に尽力
- システムLSI設計や社会情報基盤など、情報工学分野で幅広く活躍
- 現在は情報・システム研究機構 国立情報学研究所 副所長、特任研究員 学術基盤チーフディレクター
- 地域中核・特色ある研究大学の振興に係る伴走チームサポーター



Special



安浦 サポーターからのメッセージ



11月5日にJ-PEAKSの九州工業大学へのサイトビジットが実施されました。GYMLABOのオープンなスペースでの構想全体の説明と質疑のあと、今回は我が国で、JAXAに次ぐ実績を持つ小型衛星の試験施設や実際に打ち上げられた小型衛星の模型を見学し、関係者一同、宇宙への多様な思いを胸に感動を分かち合うことができました。特に、開発途上国の宇宙開発を担当する技術者を多数受け入れ、各国の宇宙開発と宇宙空間から集めた地球の様々なデータの活用を進めておられることは、大きな国際貢献でもあることを実感しました。今後も、宇宙、ロボット、次世代通信などを中心に、九州工業大学の実力を世界に広める本事業の更なる発展をできる限り支援していくつもりです。また、前日にオープンした九工大未来テラスのメンバーのご活躍にも期待いたします。



SPACE PROJECTS

『Rapid Prototyping & Production Laboratory, RPPL』東京に開設!

RPPL(Rapid Prototyping & Production Laboratory)は、九州工業大学の東京における衛星開発サポート拠点です。超小型衛星の開発や利用に興味をもつ全ての方々に門戸を開き、宇宙分野におけるイノベーションを加速できる、オープンで柔軟性の高い協働環境を提供していきます。

JAXAと共に運営で開設した「CubeSatサロン」(相談)、RPPL(開発支援)、革新的宇宙実証ラボラトリー(実証)の連携により、社会実装力を一段と加速します。

*各プロジェクトの詳細は [\(リンク\)](#) をクリック

CubeSatサロン

国立大学法人
九州工業大学 × JAXA

超小型衛星の開発・運用等を相談できる拠点として東京都内に開設(2024年7月)

Cubesatサロン戸畠(仮称)
「九工大未来テラス」内に開所予定

革新的宇宙利用実証ラボラトリー

- 超小型人工衛星の世界的研究開発拠点
- 国内2か所のみ(JAXA,九工大)
評価・実証拠点



東京衛星開発拠点新設!

『Rapid Prototyping & Production Laboratory, RPPL』

九州工業大学の超小型衛星開発サポート拠点をTokyoに開設

国際標準化推進

- ISO-17981 "Space systems Cube satellite (CubeSat) interface"
- ISO-20991 "Space systems Requirements for small spacecraft"



実績・ブランド力向上

- 小型人工衛星打上げ 運用8年連続世界一

宇宙関連スタートアップの設立

今年度、2社の小型衛星関連SUを設立

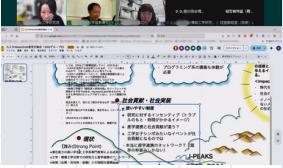
- Kick Space Technologies(株)
- (株)Kyutech Space Solution for Emergencies(KS4E)



VISION2040

学生、教職員とのワークショップを開催

12/2開催
教職員向け



11/26開催
学生向け



文部科学省の令和8年度概算要求の柱の1つが「AI for Science」です。「今後AIが学術論文を書くようになるだろう。だからAIの開発力で遅れを取ると、全ての科学技術で遅れをとってしまう」という国の危機感の表れです。先日NAISTにお邪魔したら、ロボットがメスピペットを持って化学実験をしていました。将来、「AIが仮説を立て、AIが命令してロボットが実験し、AIが論文を書く」という時代が来るのでしょうか・・・。

そういった時代の変化に大学はどう対応していくのか、考え始めないといけないと感じます。

MIYAKE
リエゾン
のつぶやき...

